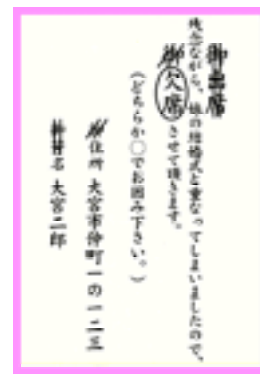
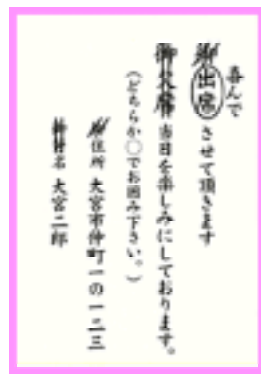


## 結婚式でのマナー

披露宴は司会者が進行するので、特に気構えずに参加すればよい。また、スピーチや余興<sup>よきょう</sup>(お祝いの歌や一発芸などの出し物)を頼まれることがあるが、何日も前に依頼されるので、十分に練習しておけばよいだろう。ここでは、結婚式に招かれ披露宴に参加するまでについて説明する。(個人的な意見だが、規則ではないので、間違っても恥をかくぐらい。難しく考える必要はないと思う。)

### 招待状

住所、氏名を書き入れ余白スペースに「ご結婚おめでとうございます」「喜んで出席させていただきます」など、一言お祝いのメッセージを添えよう。欠席の返事を出す場合は、お詫びの言葉と同時に「残念ながら妹の結婚式と重なってしまいましたので、欠席させていただきます」等一言理由を書き添える。欠席の理由が身内の病気や不幸などの場合には「ほかに所用があって」「都合により」と言った具合に理由を曖昧にしても差し支えない。



### 結婚祝い

いわゆる御祝儀。下図のようなちょっと立派なのし袋に、新札を入れる。新札は、封を開けたときに人物の顔が表の上部にくるように祝儀袋に入れ、右下図のように上を折ってから下を折る。表書きは毛筆や筆ペン、太いサインペンなどを使い、毛筆の場合は、濃い墨ではっきりと書く(仏事は薄い墨で書く)。表書きは「寿」「御結婚祝」「祝御結婚」などと書き、贈る側の名前は水引きの下中央にフルネームで書く。

二人以上で贈る場合の表書きは、右側から年齢や地位の高い順に名前を書く。グループや会で贈る場合は「 会有志」「 一同」などと書き、半紙などに全員の氏名を連記して中包みに入れておく。とくにグループの名称がない場合は中央に代表者の名前を書き、左わきに「外一同」とする。

